

「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

この広報紙は、岡山市公立保育園、岡山市立幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校の保護者等にお配りする他、各区役所、支所、地域センター、公民館、図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。

学校を支える地域の力を集結！ 地域とともにある学校づくり

～岡山市地域協働学校と地域学校協働活動～

※注1



岡山市では中学校区を一つの地域とみなし、岡山っ子育て条例で示している「自立に向かって成長する子ども」の実現に向けて、元気な学校、元気な子どもを地域で持続的にはぐくんでいこうと学校運営協議会と地域学校協働本部の双方が両輪として機能するよう積極的に取り組んでいます。

岡山市教育委員会広報専門官
こらぼん♪

※注1 学校運営協議会制度を導入した学校のこと

岡山市地域協働学校(学校運営協議会制度)って言葉だけでは難しいよね。こらぼん♪がイラストを使って説明するよ！

36中学校区 187校園で設置
令和2年度には全中学校区に
設置完了予定!! (令和元.5.1現在)

100%



協働とは、同じ目的・目標に向かって、対等な立場で協力して共に働くことだワン♪

協議会と本部をつなぐ役割を果たしてくれているんだね。

地域学校協働本部設置校は194校園中 53校園で設置 (令和元.5.1現在)

約27.3%

中学校区の学校園が集まり、協議内容や活動内容等の情報交換を行う連絡会も開催しています。



地域学校協働活動(学校に対する支援活動、地域と学校が協働して行う活動)を行う

幅広い地域住民や団体等の参画による、「登下校見回り、授業支援、防災訓練、放課後学習・部活動支援、花壇整備、自然体験活動、職場体験活動」など

※ 地域学校協働本部が設置されていない学校も、学校に対する支援活動は行われています。

東区
角山小学校 地域で行う避難訓練・防災教育

日頃から学校と地域が連携しているため、地域の方々の参加率は高く、「子どもたちのために」という思いで活きた教育ができています。

避難訓練・防災教育に地域の方も積極的に参加し、避難準備に何が必要か考えるきっかけになりました。



▲缶詰を使ったオイルランプの作成を体験



みんな顔見知りでありさつがしっかりできる中学校区です。地域のつながりが強いので子どもたちが大きくなって地域を大切に思えるようになっていきます。

角山学区安全安心を守る会会長 池本 浩司さん
角山学区連合町内会会長 西方 立夫さん



地域学校協働本部の活動について

地域学校協働本部が主体となって行っている地域学校協働活動。学校の環境整備や登下校の見守りから始まり、放課後子ども教室など活動内容は地域によって様々です。子どもたちの成長には何が重要であるかを地域で共有しビジョンを持って活動しているよ！

岡山市の各学校園で実施されている活動を紹介します♪



中区
富山中学校 地域の期待に応え活躍する中学生

年間 80 件以上 (2018 年度) の公民館・地域からのボランティア要請に積極的に応えています。幼稚園からお年寄りまでさまざまな年齢の人が集い、地域に中学生の活躍の場所があり、企画から実施まで行中で、大きな成長を遂げることが出来ます。

認知症予防について学ぶイベントを実施しました。中学生が毎年参加してくれるので、異年齢の人の交流が生まれています。



自分で考えた企画を、参加者に喜んでもらえて良かった！
お年寄りの方と触れ合う機会がもて良かったです。



認知症サポートセンター 富山会会長 福森 和子さん



南区
福田中学校 地域と一緒に協力して行う恒例行事 (3世代キラリ交流会)

とんど祭り、餅つき大会、マラソン大会など別々で行っていた行事をまとめ、3世代での地域交流イベントを毎年しています。地域の方と中学生の話し合いから始まり、参加者も 900 人ほどに増え、地域と子どもたちの垣根もなくなり大変盛り上がります。

大人気の餅つき大会！子どもも頑張ります



▲肩たたきて地域の方と子どもが交流します

地域の方が地域の子どものよきと、大変協力的。中学校の校訓にもある「自立と貢献」を実現できる場所が地域から生まれています。



岡山市立福田中学校 校長 古川 治郎校長先生

北区
足守幼稚園 地域との交流が生まれる稲刈り体験学習

田植えから始まり、稲の成長も見守りながら秋になると鎌を持って稲刈り体験をします。大きな(面積の)田んぼですが、園児が力を合わせて全て稲を刈り取りました。稲は脱穀して園に届けられ、カレーパーティーをして美味しくいただきます。幼稚園の子どもたちを地域の方が見守ることで、伸び伸びと新しい体験ができるようにサポートをしています。



子どもたちになかなかできない稲刈りという体験をさせてあげたいと思い、続けています。農業の体験を幼い頃にして、楽しさを知ってほしいです。鎌を持つことも危険だからと取り上げず、実際に一緒にやってみることが子どもたちの「学び」につながるのだと思います。



地域協働学校運営協議会委員 長門 修二さん



普段から花壇の世話や校内の見守り活動など地域の方が毎日学校で活躍されています。また、ESDを踏まえた、生徒が地域で活躍するボランティア活動も大変盛んで、人のために活動し、感謝されることで自分の存在価値を感じ、自己実現につながっていると感じます。

岡山市立御南中学校 校長先生作のペットボトル江口 峰男校長先生
素晴らしい活動には、校長先生作のペットボトルトロフィーが授与されます

ここで紹介したのは、地域学校協働本部の行っている活動の一部です。これからも地域と学校が手を取り合い協力して子供たちの成長を支えていくことが大切だね (^_^) ☆

高島中学校区 地域協働学校(学校運営協議会)設置までの流れ

岡山市の地域協働学校は中学校区を一つの地域とみなし、目標やビジョンを共有しながら運営されているんだ。今回は、令和元年度に地域協働学校を新たに立ち上げた高島中学校区の協議会設置までの様子を紹介しますよ！
今回は、立ち上げに関わってくださった会長、副会長さんにもお話を聞いてきたよ！



▲あいさつ運動のスローガンの横断幕



地域協働学校連絡会副会長 たもと たかし 瀧本 孝さん
地域協働学校連絡会会長 やまなか くにゆき 山中国之さん
地域協働学校連絡会副会長 なかえ たく 中江 岳さん

この学区では、学校を中心に地域協働学校のような取組をすでに 10 年以上前から始めていました。あいさつ運動やメディアコントロールなどは中学校区全体で連携し、各校や公民館に横断幕を付けたり、オリジナルのカレンダーを作って配布したりしています。

もともと地域が学校に協力する度合いは高かったのですが、今回新たに地域協働学校

を作るにあたって「めざす子ども像」を考え、まとめたことで新たな気づきがありました。地域協働学校としてこの先も継続する上では、学校に比重を置きすぎるとはならず、保護者、地域の人々、学校の皆が意識を高めて、三者がそれぞれ責任をもって取り組めるようにしていくことが大切です。

子育ては人任せではいけないと思います。大人が手本になる気持ちをもって、地域全体で子どもたちを育てていきたいと思っています。



▲メディアコントロールの取組として、毎年、園児・児童・生徒から募集したポスターや標語を載せたカレンダーを作成しており、高島中学校区の六校園の行事が一目で分かるようになっていきます。



地域協働学校設置

PTA総会等で地域協働学校の設置についての周知

高島中学校区は これからの時代を生きる子どもたちのために 学校・家庭・地域がさらに連携・協働して、「めざす子ども像」の実現に向けた取組を進めていきます。

これまでの地域全体での取組が豊かにある中で、当たり前になってきていることについてあらためて意味付けを行うことで、よりしっかりとしたつながりをもっていけるのではないのでしょうか。子どもを取り巻くいろいろな人が子どものために時間をかけて、心を傾け、取り組んでくれているということを子どもたちにも伝え、「今の環境は当たり前なことではないんだ」と、感謝の心をもてるようにしていきたいです。
教育は数値では判断しにくいものですが、「めざ

す子ども像」に向けた取組がどのように実を結んでいくか、指標を作ってみていきます。岡山市では、学校園の児童・生徒・保護者・教職員を対象に「教育に関する総合調査」を行っています。その調査項目に「めざす子ども像」に関する項目を加え、高島中学校区独自の調査が行えるようにしました。今後、その調査結果や経年比較をもとに見直しをしながら、地域協働学校として、しっかりと意味のある取組を続けていきたいと思っています。今後がとても楽しみです。

共通のアンケートで「めざす子ども像」の取組結果を見ていきます



岡山市立高島小学校 校長 徳永 充生校長先生
岡山市立高島中学校 校長 桑本 祐介校長先生
岡山市立旭竜小学校 校長 橋本 直敬校長先生

これからの地域と学校の連携・協働について

学校運営協議会の取組が盛んな桃丘小でお話を伺ってきました。



岡山市立桃丘小学校
のぶ じゅんお
矢延 文夫校長先生



地域協働学校運営協議会会長
さとう しんじ
佐藤 信治さん



地域協働学校運営協議会副会長
もりの まさひろ
森谷 正孝さん

年6回の学校運営協議会は、地域の方が先頭に立って学校運営について意見を出しています。会での検討事項を事前に準備して参加することで、活動報告などの事後報告だけでなく、今後の活動に関する話し合いも行うようにするなど実のある会になるよう心がけています。学校を核としてみんなが繋がって地域を作ってきた中で、活動推進員さんから「今まで学校でやっていたことの中で、地域でやれることは地域でやろう」という声が上がリ、学校、家庭、地域の3者で活動仕分けをしていきました。

毎週月曜放課後の宿題支援・遊び交流や、昔遊びの会、校外学習の引率補助、地域のイベントなど地域の方がボランティアとして様々な形で協力していただきます。適材適所、地域の方が得意なことを活かせるよう、活動推進員さんから声をかけることで幅広い年代や職種の方がボランティアに参加するきっかけが生まれています。地域の方々がどんな形で協力できるか、地域をよく知っている活動推進員さんがいてくださるからこそ、開かれた学校として先生が教えられない分野まで地域のネットワークを活用して子どもたちに経験させてあげることができます。「地域み



学校運営協議会の様子

んなで子どもを育てる」という意識が根付いているから、ボランティアの皆さんは学校に来て一緒に活動することについての抵抗がありません。子どもたちにとっても、知っている大人が地域に多くなり、その方たちに見守ってもらえていることは大変安心で心強いです。

地域の人材に活躍していただき、また、外部の講師を呼ぶなど、地域学校協働本部の活動は目的に合わせて多様に広げていくことが可能です。子どもたちには制限を設けず、最高の教育、体験をさせてあげるという気持ちで、地域みんなでこれからも取り組んでいきたいと思っています。



けん玉を
教えて
もらった!

授業の補助
(昔遊びの会)



あやとり
できたよ!



こま回しの
コツがわかった!

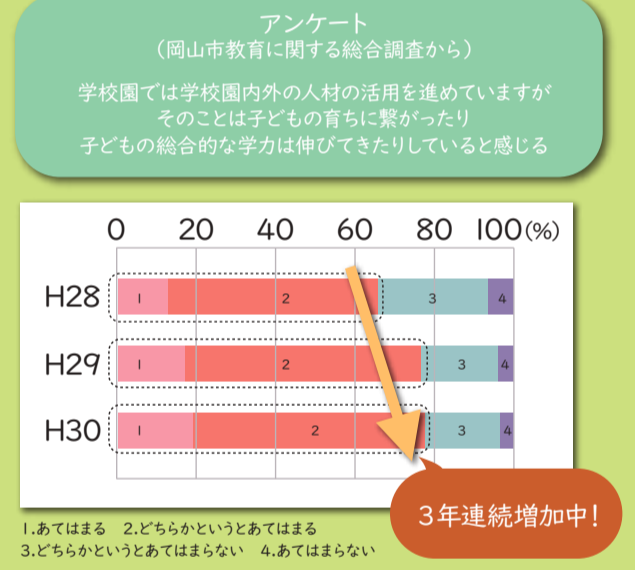
学校・園行事支援
(地域ふれあいの日)



楽しんで続けることが一番!

私たちが把握している地域人材ネットワークを使って、これが得意な人はあの人!と、すぐに相談しています。ボランティアを始めることに躊躇している人も、一度お願いしてやってもらおうと、また次もしたいと仰ってくださる方が多いです。無理はせず、楽しいから続けたいくなるのでしょう。子どもの成長と共に、私たちも元気をもらえるんです。

地域学校協働活動推進員 いわはし なご たかはし まさこ
岩橋 良子さん・高橋 雅子さん



こらぼ

ご意見・ご感想をお聞かせください。

今回の特集で興味をもってお読みいただいた記事やその理由などを今後取り上げて欲しいテーマと共にお願いします。抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

皆さんの意見を
聞いてみたいんだワン♪



こらぼVOL.13に
寄せられた
ご意見・ご感想

前回のテーマ
誰もが安心して通える
学校園づくりを目指して

今回のこらぼを拝見して小学生の暴力行為や不登校の岡山での増加が気になりました。大人でも悩む人間関係は子供達には尚更悩ましいものだろうと痛感しました。学校だけではなく家庭でも、近所でも、周りの大人も一緒に寄り添って向き合っていく問題だと思います。

我が子はまだ幼稚園年中で、毎日楽しく登園しています。今後成長の過程で学校へ行きたくないと言った時、どのように対応すれば良いのか、親の判断だけでなく、学校や地域からの意見も大切にすべきだなと感じました。また市に相談できる場所があるのはとても心強いと思いました。

箕島小学校の「自主勉強プリント」!とてもいい取組だと感じました。宿題という、やらされてる感が強いですが、小学生の特性をよく掴んで活かしてらっしゃるんだなあと納得しました。がんばりカードでやる気に火をつける、そして自主勉強が継続される、このスパイラルはみんなを巻き込むとてもいい効果だと思いました。ぜひ、色々な学校で取り組めるといいなと感じました。

それぞれの学校での取り組みの記事を読み、どの学校も様々な取組で子供たちを生活面、勉強面等でサポートしてくださっている様子が伝わりました。学校に関するいろんな嫌なニュースがあるなかで、本当はちゃんとした学校がたくさんあるんだらうなあと感じました。

親としては、子どもが学校に行けなくなることが一番辛いと思います。うちにも中学生の子どもがおりますが、小学校に入学して間もない頃と、小学校3年生に進級した頃の2度「学校に行きたくない」と泣いて訴えてきたことがあります。結局は1日も休むことなく登校しましたが、朝の登校にはしばらく付き添いました。このまま学校に行けなくなったらどうなるのだろうと心配したものです。勉強も大切ですが、豊かな心の育ちを育成する教育をお願いします。

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

はがき・封書

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市教育委員会事務局
教育総務部教育企画総務課 行

F A X

086-234-4141

Eメール

korabo@city.okayama.lg.jp

応募締切

令和2年 1月31日(金)



※ お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

紙面で紹介している教職員や関係者の所属は令和元年11月末現在のものです。

発行・問い合わせ：岡山市教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課 tel:086-803-1571

編集・制作：株式会社ティ・シー・シー

LINE@岡山市教育委員会 配信中!

ID検索では「@okayamashikorabo」で検索できます。教育委員会の取組や子育てに役立つ情報、学校給食レシピなどを配信しています!ぜひご登録を!

